

公 民

1 教育課程研究協議会の経過（平成11年度～平成14年度）

平成11年度から平成14年度の教育課程研究協議会において、公民科では「現代社会」「倫理」「政治・経済」の各科目の部会が設けられ、各科目ごとに研究協議会が開かれた。

平成11年度から平成14年度の手引及び教育課程研究協議会の概要は次のとおりである。

	手 引 の 概 要	説 明 及 び 協 議 の 概 要
平成11年度	1 科目編成 2 改訂の基本方針 3 改訂の内容 (1) 教科の目標 (2) 各科目の目標、内容の構成、内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識を一方的に教え込むことになりがちであった教育」から「自ら学び考える教育」への基調の転換を図るなど、教科の改善の基本方針について ・新しい公民科の科目構成、標準単位数について ・各科目の目標、内容の構成、内容の取扱いの留意点について ・課題追究学習の基本的な考え方について
12年度	<改訂に関するQ&A> 1 全般的事項 2 現代社会 3 倫理 4 政治・経済	<ul style="list-style-type: none"> ・教科目標に加えられた「主体的に考察させ」の留意点について ・各科目における「見方や考え方」の指導の留意点について ・各科目の内容構成について ・各科目における課題追究学習を取り扱う際の留意点について ・倫理の目標に加えられた「生きる主体としての」についての指導上の留意点について ・政治・経済の目標に加えられた「主体的に考察させ、公正な判断力を養い」の指導上の留意点について
13年度	1 公民科の教育課程の編成 (1) 基本的な考え方 (2) 配慮すべき事項 (3) 特色ある教育課程の編成 2 指導計画と内容の取扱い (1) 指導計画作成上の留意点 (2) 内容の取扱い 3 指導計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・科目編成と必修科目、標準単位数について ・改訂の趣旨を生かし、各科目の特質に留意して創意工夫した教育課程を編成することについて ・選択幅の拡大や公民科に関連する学校設定教科・科目の履修、学校外の学修などの教育活動と関連を図るなど弾力的で特色ある教育課程の編成について ・各科目の指導計画作成に係る留意点について ・各科目と総合的な学習の時間との関連の留意すべき点について
14年度	1 公民科の学習指導の改善 (1) 学習指導の改善の視点 (2) 効果的な学習指導 2 評価の工夫 (1) 評価の基本的な考え方 (2) 評価の工夫 3 学習指導案の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・各科目の特質を生かした学習指導の改善の留意点について ・4 視点を基本とした、目標に準拠した評価を一層重視していくことについて ・目標に準拠した評価を行う際の留意点について ・各科目の課題追究学習の指導例について ・公民科において学校設定科目を設定する際の留意点について ・公民科と総合的な学習の時間との関連の留意点について

2 学習指導の改善・充実

(1) 個に応じた指導の工夫

公民科では、知識を一方的に教え込むことになりがちであった教育から自ら学び自ら考える力を育成する教育へと転換を図る観点から、各科目でそれぞれの特質に応じた諸課題を選択的に取り上げて考察し、客観的で公正な見方や考え方を深め、現代の社会の諸課題と自己の在り方生き方について主体的に考える力を一層養うことが求められている。

学習指導を進める際には、例えば「現代社会」では多様な観点から社会事象をとらえ、自己とのかかわりにおいて考察をすすめたり、「倫理」では現代の倫理的課題について思索を深め、現代社会をいかに生きるかについて主体的に学んだり、「政治・経済」では、現代社会の諸課題について望ましい解決の在り方を主体的に考察したりすることができるよう、教師が生徒一人一人の興味・関心、適性、理解の状況に応じて、きめ細かな指導を行うことが必要である。

特に、公民科の3科目全てに課題追究学習を取り入れ、課題を設定し追究する学習を重視している。この学習は生徒が現代の社会における諸課題を自らの課題として自己とのかかわりに着目することや、解決方法を考察することなど、自ら学び自ら考える力を身に付けさせるとともに、調べ方や学び方を習得する態度を養うものである。

この学習においては、個別学習やグループ学習など様々な形態が考えられるが、具体的な学習指導の場面で教師が生徒一人一人の学習活動を観察し、学習意欲等を適切に把握するとともに、個々の生徒の学習の内容や学習の進み具合等に応じて適切な支援を行うことが大切である。

また、各科目の課題追究学習では追究した過程や結果について適切に表現する能力と態度を育てることも大切である。その際、追究の経過や結果について発表を行ったり報告書にまとめて提出させるなど一つのまとまったものに仕上げ、生徒一人一人に成就感を持たせるなど、工夫することが必要である。

(2) 指導と評価の工夫・改善

学習の評価においては、生徒一人一人のよい点や学習の到達の状況などを適切に評価するため、観点別学習状況の評価における4つの観点を基本として、目標に準拠した評価を行うこととされている。学校の教育活動においては、計画、実践、評価という一連の活動を繰り返しながら、生徒のよりよい成長を目指した指導が展開されることを踏まえ、評価の結果によって後の指導を改善し、さらに新しい指導の成果を再度評価するという、いわゆる指導と評価の一体化を進めることが必要である。

公民科においては、ある一定の内容のまとまりごとに一つの単元が構成されていることから、大項目や中項目レベルごとのまとまりを一つの区切りとして、学習のねらいを明確化し、評価を行うことが大切である。その際、以下の3点が重要なポイントとなる。

① 学習指導のねらいが明確になっていること〈ねらいの設定〉

学習指導要領に示された教科目標、科目目標、各大項目及び中項目の趣旨や学習指導のねらいを教材に即して明確化・具体化していくことが重要となる。

② 学習指導のねらいが実現されたということはどのような状態になることか具体的に想定されていること〈評価規準の設定〉

目標や学習指導のねらいが実現された状況を生徒の学習状況として具体的に評価規準として設定することが求められており、評価を行う前に事前に評価規準を設けておくことが重要となる。

③ 学習指導のねらいが実現されたかどうかを評価する方法、手段が準備されていること〈評価方法、手段の準備〉

授業のどの場面で、何を、どのような方法で評価するかを事前に準備しておくことが必要である。そのためには、学校や生徒の実態を的確にとらえ、指導計画や評価計画を作成するとともに、その方法等についてシラバスなどで生徒や保護者に事前に明らかにすることも大切である。

(3) シラバスの活用

科目「現代社会」のシラバスの例

教科名	公民		科目名	現代社会	
科目の目標	人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。				
履修学年	1学年		学科・コース	〇〇	
単位数	2単位		授業形態	〇〇	
教科書	〇〇		副教材等	〇〇	
1 学習の目標					
<ol style="list-style-type: none"> 1 現代社会（皆さんが暮らしている社会）や皆さん自身のことについていろいろな方向から考え、理解を深めます。 2 現代社会（皆さんが暮らしている社会）にある様々な問題について、皆さん自身がいろいろな人の意見を参考にして考え、その内容や結果について発表したり報告書にまとめたりする力を養います。 3 皆さんが高校生として、そして大人としてどのような生き方が大切であるか考える姿勢を育てます。 					
2 学習内容と進め方					
<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの暮らしている社会について、倫理、社会、文化、政治、経済などいろいろな方向から考えていきます。 ・1年間の学習を通して、私たちの社会や自分自身について考えるようになり、新聞やテレビのニュースが分かりやすく理解できるよう学習を進めます。 ・グループや個人で課題を設定して追究する学習や一斉学習など、様々な形態の学習活動を行います。 ・課題を設定して追究する学習では、学習の成果を発表したり、レポートや報告書にまとめて提出したり、ディベートや討論を行ったりします。 					
3 学習の留意点					
<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことがらについてただ単に知識として覚えるのではなく、自分自身の在り方生き方に結びつけて考えるようにすることが大切です。 ・公民科の他の科目や地理歴史科などの他の教科の学習と関連づけて学習すると、理解が一層深められます。 ・授業中にわからないことや疑問を感じたことなどは、そのままにせず質問してください。また、授業で取り上げた様々な課題について、自ら進んで考え、積極的に発表する態度が大切です。 ・ノートやワークシートなどには、板書事項をそのまま写すのではなく、自分で考えたことや感じたこと、さらに興味を持ったことなどをメモして整理することが大切です。 ・学習する様々な課題について、自ら進んで資料を集めて考え、積極的に発表する態度が大切です。 ・「現代社会」の教材は身の回りにたくさんあります。日頃から新聞やテレビのニュースに関心をもつとともに、インターネットなどを積極的に利用するようにしてください。 					
4 評価の方法					
<ol style="list-style-type: none"> 1 課題を設定して追究する学習の成果等をまとめたレポート、報告書などの提出物、ディベートや討論での発表の内容や仕方、授業で用いたプリントやワークシート、ノートなどの提出物、定期考査の成績などで評価します。 2 公民科の観点別学習状況の評価の4観点「関心・意欲・態度」、「思考・判断」、「資料活用の技能・表現」、「知識・理解」を基本として、科目の目標や単元の到達目標に照らし合わせて評価を行います。 					
5 授業計画					
月	単元	具体的な学習内容	評価の観点		評価の方法
4	ガイダンス	○「現代社会」の学習の意義や内容、評価の方法について理解します。			
5	(1) 現代に生きる私たちの課題	◎現代社会の課題について、自分自身の課題として、いろいろな資料を活用し、追究します。また、追究したことについてまとめたり発表したりします。 ・課題追究のモデリング ・生徒各自の課題設定 ・課題追究学習 ・課題追究の発表 ・教師による講評	【関心・意欲・態度】 「現代に生きる私たちの課題」について興味・関心をもって積極的に課題追究に取り組んでいるか評価します。 【思考・判断】 取り組んでいる課題について、自分とのかかわりの中で、様々な立場の考え方を参考にして自分の考えとしているか評価します。 【資料活用の技能・表現】 課題追究学習に役立つよう、様々なメディアや資料を収集、活用し、追究した過程や結果を発表したりレポートにまとめたりして表現しているか評価します。 【知識・理解】 皆さんが暮らしている社会がどのようなものか、どのような課題があるかを理解し、その知識を身に付けているか評価します。		・ワークシート及びレポート ・発表の内容や仕方 ・授業の中で使用するプリント ・ノート ・定期考査
6					
7					
8	(2) 現代の社会と人間としての在り方 ア 現代の社会生活と青年	◎現代社会について、倫理、社会、文化、政治、経済など様々な方向から自分の課題として、学習します。 ○現代社会について様々な方向から、青年としての皆さんがどのように生きるべきか考えます。 ・大衆化、少子高齢化、高度情報化、国際化などから2つ程度選択 ・社会生活の変化 ・生涯における青年期の意義と自己形成の課題 ・自己実現と職業生活、社会参加	【関心・意欲・態度】 現代社会や青年である自分自身について興味・関心を持ち、自分の生き方について積極的に考えようとしているか評価します。 【思考・判断】 現代社会や青年である自分自身について課題を見つけ、様々な立場、考え方を参考にして、自分の考えとしているか評価します。		・ワークシート及びレポート ・授業の中で使用するプリント ・ノート ・小テスト ・定期考査

月	単元	具体的な学習内容	評価の観点	評価の方法
9	イ 現代の経済社会と経済活動の在り方	<p>○現代の経済の特徴について理解し、生産者や消費者としての社会的責任について考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術革新と産業構造の変化 ・企業の働き ・公的部門の役割と租税 ・金融機関の働き ・雇用と労働問題 ・公害の防止と環境保全 ・個人と企業の経済活動における社会的責任 	<p>【資料活用の技能・表現】 現代社会や青年である自分自身の課題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、自分から積極的に活用し、学習した成果などについて発表したり文章にしているか評価します。</p> <p>【知識・理解】 ・現代の社会や青年期の課題についてその特徴を様々な面から自分のものとして理解し、知識としているか評価します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート及びレポート ・授業の中で使用するプリント ・ノート ・小テスト ・定期考査
			<p>【関心・意欲・態度】 経済の仕組みや特徴について、興味・関心を持って学習しているか評価します。</p> <p>【思考・判断】 現代の経済社会において、消費者、納税者としての自分や企業のもつ役割や特徴、責任等について様々な立場、意見を参考にして自分の考えをもつことができているか評価します。</p> <p>【資料活用の技能・表現】 現代の経済社会のいろいろな課題について、諸資料を様々なメディアを通して収集し、自分から積極的に活用し、学習した成果などについて発表したり文章にしているか評価します。</p> <p>【知識・理解】 現代の経済社会における様々な状況（技術革新と産業構造の変化、企業の働き、公的部門の役割と租税、金融機関の働き、雇用問題、環境問題等）について理解し、自分の知識になっているか評価します。</p>	
10	ウ 現代の民主政治と民主社会の倫理	<p>○日本国憲法の基本原則や政治の仕組みについて学習し、民主社会における個人の在り方について考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的人権の保障と法の支配 ・民主権と議院制民主主義 ・平和主義と我が国の安全 ・世論形成と政治参加の意義 ・民主政治における個人と国家 ・生命の尊重 ・自由・権利と責任・義務 ・人間の尊厳と平等 ・法と規範 ・民主社会の倫理 	<p>【関心・意欲・態度】 現代の民主政治と民主社会における倫理について、興味関心を持って学習しているか評価します。</p> <p>【思考・判断】 現代の民主政治と民主社会における倫理について、課題を見つけ、自分から積極的に自分の考えをもつことができているか評価します。</p> <p>【資料活用の技能・表現】 現代の民主政治と民主社会における倫理の課題について、いろいろな資料を様々なメディアを通して収集し、自分から積極的に活用し、学習した成果などについて発表したり文章にしているか評価します。</p> <p>【知識・理解】 基本的人権の保障と法の支配、民主権と議院制民主主義、平和主義と我が国の安全、日本国憲法の基本的原則、世論形成と政治参加の意義について理解し、自分の知識としているか評価します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート及びレポート ・授業の中で使用するプリント ・ノート ・小テスト ・定期考査
11	エ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割	<p>○世界の主な国の政治や経済の動きを学習し、国際社会における日本の役割及び日本人の在り方について考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の主な国の政治や経済の動向 ・人権、国家主権、領土に関する国際法の意義 ・人種・民族問題 ・核兵器と軍縮問題 ・我が国の安全保障と防衛 ・資本主義経済と社会主義経済の変容 ・貿易の拡大と経済摩擦 ・南北問題 ・国際平和や国際協力の必要性及び国際組織の役割 ・国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方 	<p>【関心・意欲・態度】 国際社会の動きや諸問題に対して、日本の役割及び日本人としての生き方について興味・関心を持って学習しているか評価します。</p> <p>【思考・判断】 国際社会の動きや諸問題から課題を見だし、国際平和や国際協力の必要性や国際組織の役割などについて様々な立場や考え方を参考に学習し、日本の役割、日本人の生き方について自分の考えをもつことができているか評価します。</p> <p>【資料活用の技能・表現】 国際社会の動きや諸問題についての資料を様々なメディアを通して収集して、積極的に活用し、学習した成果などについて発表したり文章にしているか評価します。</p> <p>【知識・理解】 国際社会の動きや諸問題について理解し、知識を持っているか評価します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート及びレポート ・授業の中で使用するプリント ・ノート ・小テスト ・定期考査
12				
1				
2				
3	<まとめ> 「現代社会」の学習を振り返って	<p>○1年間の学習で学んだことや関心が深まったことについて皆さん自身で課題を設定して、まとめます。</p>	<p>【思考・判断】 【資料活用の技能・表現】 【知識・理解】 自分で課題を設定し、さまざまな資料を収集して、さまざまな角度から考察し、自分の意見をまとめ、発表しているか評価します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の仕方や態度 ・ワークシート及びレポート ・発表の内容や仕方

科目「倫理」のシラバス例

教科名	公民		科目名	倫理	
科目の目標	人間尊重の精神に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。				
履修学年	2学年	学科・コース	〇〇		
単位数	2単位	授業形態	〇〇		
教科書	〇〇	副教材等	〇〇		
1 学習の目標					
<p>1 青年期を迎えた皆さんが、どのように「自分」を見つけたしていくのか、「自分」とはどういう存在なのか、どのように人生を生きたらよいかについて考え、理解を深めます。</p> <p>2 自らをより高めていこうとする意欲をもって、自ら考え自らの意志で決定し、その結果には責任を持つという「自分」を作り上げる努力をし、大人となってどのように生きるべきかを考える力を身に付けます。</p> <p>3 世の中や自分の生き方について自分なりの考えをもち、善し悪しを判断するためのものさしを身に付けます。また、学習した過程や結果について報告書にまとめたり発表したりする力を身に付けます。</p>					
2 学習内容と進め方					
<ul style="list-style-type: none"> ・自分や自分を取り巻く社会の倫理的課題を自ら追究し、「自分」とはどういう存在なのか、どのように人生を生きたらよいかについて理解と考えを深め、自ら考え自らの意志で決定し、その結果には責任を持つという「自分」を作り上げるようにします。 ・1年間の学習を通して、人生をどう生きたらよいか、「自分」とはどのような存在なのか、社会にどのように関わっていけばよいのかなど、人間や社会について考えます。 ・グループや個人で課題を設定して追究する学習や一斉学習など、様々な形態の学習活動を行います。 ・課題を設定して追究する学習では、学習の成果を発表したり、レポートや報告書にまとめて提出したり、ディベートや討論を行ったりします。 					
3 学習の留意点					
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な事項や内容を覚えるだけでなく、現代の社会には様々な倫理的課題があり、それらが生じてきた背景や改善の在り方について客観的に考えることが本当の理解や自分の考えを作り上げることに繋がります。 ・公民科の他の科目や地理歴史科などの他の教科の学習と関連つけて学習すると、理解が一層深められます。 ・授業中にわからないことや疑問を感じたことなどは、そのままにせず質問してください。また、授業で取り上げた様々な課題について、自ら進んで調べ、考える態度が大切です。 ・ノートやワークシートなどには、板書事項をそのまま写すのではなく、自分で考えたことや感じたこと、さらに興味を持ったことなどをメモして整理することが大切です。 ・課題を設定して追究する学習では、自ら進んで思想家の考えを学んだり各種の統計やインターネットなどを活用して資料を集め、必要な情報を選びそれに基づいて考えるなど積極的に取り組むことが大切です。 ・人間の在り方生き方を考える生きた教材は身の回りにたくさんあります。日頃から新聞やテレビのニュースに関心をもつとともに、インターネットなどを積極的に利用するようにしてください。 					
4 評価の方法					
<p>1 課題を設定して追究する学習の成果等をまとめたレポート、報告書などの提出物、ディベートや討論での発表の内容や仕方、授業で用いたプリントやワークシート、ノートなどの提出物、定期考査の成績などで評価します。</p> <p>2 公民科の観点別学習状況の評価の4観点「関心・意欲・態度」、「思考・判断」、「資料活用の技能・表現」、「知識・理解」を基本として、科目の目標や単元の到達目標に照らし合わせて評価を行います。</p>					
5 授業計画					
月	単元	具体的な学習内容	評価の観点	評価の方法	
4	ガイダンス	○「倫理」の学習の意義や内容、評価の方法について理解します。			
	(1) 青年期の課題と人間としての在り方 ア 青年期の課題と自己形成	<p>◎自分が抱えている課題を通して、青年期のもつ意義を考えます。</p> <p>○自らの体験や悩みを振り返ることを通して、青年期の意義や課題について理解し、豊かな心を育み、他人と共に生きる自分の生き方について考えます。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 青年期のもつ意義と課題に対し関心を持って学習しているか評価します。</p> <p>【思考・判断】 青年期のもつ意義と課題について様々な意見をもとに考えているか評価します。</p> <p>【資料活用の技能・表現】 青年期のもつ意義と課題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、活用しているか評価します。</p> <p>【知識・理解】 青年期のもつ意義や課題を、自分が生きていく上での課題と結び付けて理解し、自分自身が大人へ成長していくための知識として身に付けているか評価します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート及びレポート ・授業の中で使用するプリント ・ノート ・定期考査 ・小テスト ・発表の内容や仕方 	
5	イ 人間としての自覚	○哲学や宗教や芸術のもつ意義を、自分自身の課題と重ね合わせ、そこからどのような答えを見出すことができるかを考えます。	<p>【関心・意欲・態度】 人間はどうかあるべきか、またどのように生きていったらよいかについて考えようとしているか評価します。</p> <p>【思考・判断】 人間はどうかあるべきか、またどのように生きていったらよいかについて様々な意見をもとに考えて判断しているか評価します。</p> <p>【資料活用の技能・表現】 基本的な課題を追究する学習に役立つ情報を自ら積極的かつ適切に選択して活用しているか評価します。</p> <p>【知識・理解】 自分自身が大人へ成長していくための知識として身に付けているか評価します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート及びレポート ・授業の中で使用するプリント ・ノート ・定期考査 ・小テスト 	
			<p>【関心・意欲・態度】 人間はどうかあるべきか、またどのように生きていったらよいかについて様々な意見をもとに考えて判断しているか評価します。</p> <p>【資料活用の技能・表現】 基本的な課題を追究する学習に役立つ情報を自ら積極的かつ適切に選択して活用しているか評価します。</p> <p>【知識・理解】 自分自身が大人へ成長していくための知識として身に付けているか評価します。</p>		
7					

月	単元	具体的な学習内容	評価の観点	評価の方法
8	ウ 国際社会に生きる日本人としての自覚	○日本人が人間をどのようにとらえ、自然や宗教とのかかわりをどのように考えたかを、自己とのかかわりにおいて理解します。 ・日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質 ・我が国の風土や伝統 ・外来思想の受容 ・国際社会に生きる主体性のある日本人としての在り方生き方	【関心・意欲・態度】 日本の風土や伝統、外来思想の受容に対し関心をもって学習しているか評価します。 【思考・判断】 日本人にみられる人間観、自然観、宗教観などについて広い立場から考え、日本人として人間はどうあるべきか、またどのように生きていったらよいかについて様々な意見をもとに判断しているか評価します。 【資料活用の技能・表現】 日本人として人間はどうあるべきか、またどのように生きていったらよいかについて探究する学習に役立つ情報を自ら進んで適切に選択して活用しているか評価します。 【知識・理解】 日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質を、自分自身が大人へ成長していくための課題と結び付けて理解しているか評価します。	・ワークシート及びレポート ・授業の中で使用するプリント ・ノート ・定期考査 ・小テスト ・発表の内容や仕方
9	(2) 現代と倫理 ア 現代の特質と倫理的課題	◎人間はどうあるべきか、またどのように生きていったらよいかについて考えます。 ○現代に生きる人間の倫理的な課題を理解します。 ・現代の倫理的課題 ・今日に生きる人間の課題	【関心・意欲・態度】 現代の特質に対し関心を高めているか評価します。 【思考・判断】 今日に生きる人間にとって何が重要な課題であるかについておおづかみに考え、広い視野に立って自ら進んでかつ公正に判断しているか評価します。 【資料活用の技能・表現】 現代の倫理的課題を考える学習に役立つ情報を自ら進んでかつ適切に選択して活用しているか評価します。 【知識・理解】 現代の特質について、倫理的視点からおおづかみに理解し、自分自身が大人へ成長していくための知識として身に付けているか評価します。	・ワークシート及びレポート ・授業の中で使用するプリント ・ノート ・定期考査 ・小テスト ・発表の内容や仕方
10	イ 現代に生きる人間の倫理	○現代の様々な倫理的課題について、他人と共に生きている自分の生き方にかかわる課題として自ら進んで考えます。 ・人間の尊厳と生命への畏敬 ・自然や科学技術と人間とのかかわり ・民主社会における人間の在り方 ・社会参加と奉仕 ・自己実現と幸福	【関心・意欲・態度】 現代に生きる人間が直面するいろいろな課題に対し関心を高めているか評価します。 【思考・判断】 現代に生きる人間が直面するいろいろな課題について広い立場から考え、様々な考え方を踏まえて判断しているか評価します。 【資料活用の技能・表現】 現代に生きる人間が直面するいろいろな課題に関する資料を収集・活用しているか評価します。 【知識・理解】 現代に生きる人間が直面するいろいろな課題に関する基本的な事柄について理解し、その知識を身に付けているか評価します。	・ワークシート及びレポート ・授業の中で使用するプリント ・ノート ・定期考査 ・小テスト ・発表の内容や仕方
11				
12	ウ 現代の諸課題と倫理	○現代の課題についての学習に基づいて、自らの課題とつなげて追究し、現代に生きる人間の在り方生き方について自覚を深めます。 ・倫理的課題の追究 A：生命又は環境のいずれか B：家族・地域社会又は情報社会のいずれか C：世界の様々な文化の理解又は人類の福祉のいずれか	【関心・意欲・態度】 自分の課題とつなげて意欲的に追究し、人間はどうあるべきか、またどのように生きていったらよいかについて積極的に考えようとしているか評価します。 【思考・判断】 現代の倫理的な課題を広い立場から考え、現代に生きる人間はどうあるべきか、またどのように生きていったらよいかについて広い視野に立って自ら進んで判断しているか評価します。 【資料活用の技能・表現】 現代の倫理的な課題を追究し考えた過程や結果を様々な方法で適切に表現しているか評価します。 【知識・理解】 自分自身が大人へ成長していくための知識として身に付けているか評価します。	・ワークシート及びレポート ・授業の中で使用するプリント ・ノート ・定期考査 ・小テスト ・発表の内容や仕方
1				
2				
3				

科目「政治・経済」のシラバスの例

教科名	公民	科目名	政治・経済	
科目の目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。			
履修学年	3学年	学科・コース	文系クラス	
単位数	2単位	授業形態	〇〇	
教科書	〇〇	副教材等	〇〇	
1 学習の目標				
1 中学校の社会科で学習したことをもとにして、政治や経済の基本的な見方や考え方を身に付けます。 2 自分を取り巻く政治、経済、国際関係などのしくみや動きなどについて理解を深めます。 3 政治、経済、国際関係などについて自ら進んで調べ、様々な意見について学び、理解を深めます。 4 現代の諸課題について、望ましい解決の在り方を自ら進んで考える能力と態度を身に付けます。				
2 学習内容と進め方				
<ul style="list-style-type: none"> 政治や経済の基本的な見方や考え方を学び、それをもとにして、現代の社会の動きや課題について調べたり、考えたりします。 新聞やテレビのニュースなどの基本が理解でき、政治や経済の動向が分かるように学習します。 グループや個人で課題を設定して追究する学習や一斉学習など、様々な形態の学習活動を行います。 課題を設定して追究する学習では、学習の成果を発表したり、レポートや報告書にまとめて提出したり、ディベートや討論を行ったりします。 				
3 学習の留意点				
<ul style="list-style-type: none"> 基本的な事項や内容を覚えるだけでなく、現代の社会には様々な課題があり、それらが生じてきた背景や改善の在り方について考えることが本当の理解や自分の意見を作り上げることに繋がります。 公民科の他の科目や地理歴史科などの他の教科の学習と関連づけて学習すると、理解が一層深められます。 授業中にわからないことや疑問を感じたことなどは、そのままにせず質問してください。また、授業で取り上げた様々な課題について、自ら進んで調べ、考える態度が大切です。 ノートやワークシートなどには、板書事項をそのまま写すのではなく、自分で考えたことや感じたこと、さらに興味を持ったことなどをメモして整理したりすることが大切です。 課題を設定して追究する学習では、自ら進んで各種の統計やインターネットなどを活用して資料を集め、必要な情報を選び、それに基づいて考えるなど積極的に取り組むことが大切です。 政治や経済について考えるための教材は身の回りにたくさんあります。日頃から新聞やテレビのニュースに関心をもつとともに、インターネットなどを積極的に利用するようにしてください。 				
4 評価の方法				
1 課題を設定して追究する学習の成果等をまとめたレポート、報告書などの提出物、ディベートや討論での発表の内容や仕方、授業で用いたプリントやワークシート、ノートなどの提出物、定期考査の成績などで評価します。 2 公民科の観点別学習状況の評価の4観点「関心・意欲・態度」、「思考・判断」、「資料活用の技能・表現」、「知識・理解」を基本として、科目の目標や単元の到達目標に照らし合わせて評価を行います。				
5 授業計画				
月	単元	具体的な学習内容	評価の観点	評価の方法
4	ガイダンス	○「政治・経済」の学習の意義や内容、評価の方法について学習します。		
	(1) 現代の政治 ア 民主政治の基本原則と日本国憲法	◎現代の政治に関する基本的な見方や考え方を学習します。 ○日本国憲法の基本的性格や民主政治の基本原則について学習します。 ・日本国憲法の基本的性格 ・国会、内閣、裁判所などの政治機構 ・政治と法の機能 ・人権保障と法の支配 ・権利と義務の関係 ・議会制民主主義 ・望ましい政治の在り方及び主権者としての参政の在り方	【関心・意欲・態度】 現代の政治に対して興味・関心をもっているか評価します。 【思考・判断】 現代の政治や政治参加の在り方について社会の変化や様々な意見をもとにして考えているかどうか評価します。 【資料活用の技能・表現】 現代の政治に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、活用しているか評価します。 【知識・理解】 民主政治についての基本的な知識を身に付けているかどうか評価します。	・ワークシート及びレポート ・授業の中で使用するプリント ・ノート ・定期考査 ・小テスト
7	イ 現代の国際政治	○現代の国際政治にかかわる基本的な仕組みについて学習します。 ・国際政治の動向 ・人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義 ・国際連合をはじめとする国際機構の役割 ・我が国の防衛を含む安全保障の問題 ・国際政治の特質や国際紛争の諸要因 ・国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割	【関心・意欲・態度】 現代の国際政治に対する興味・関心をもっているか評価します。 【思考・判断】 国際政治における日本の役割について、国際的な依存関係の高まりなど社会の変化や様々な考えをもとに判断しているかどうか評価します。 【資料活用の技能・表現】 現代の国際社会に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、活用しているか評価します。 【知識・理解】 国際政治の特色や国際紛争の原因を考えるための基本的な知識を身に付けているか評価します。	・ワークシート及びレポート ・授業の中で使用するプリント ・ノート ・定期考査 ・小テスト
			8	
9				

月	単元	具体的な学習内容	評価の視点	評価の方法
10	(2) 現代の経済 ア 経済社会の変容と現代経済の仕組み	<p>◎現代の経済に関する基本的な見方や考え方を学習します。</p> <p>○現代の経済の特色について学習します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資本主義経済及び社会主義経済の変容 国民経済における家計、企業、政府の役割 市場経済の機能と限界 物価の動き 経済成長と景気変動 財政の仕組みと働き及び租税の意義と役割 資金の循環と金融機関の働き 経済活動の在り方と福祉の向上 	<p>【関心・意欲・態度】 現代の経済に対して興味・関心をもっているか評価します。</p> <p>【思考・判断】 経済活動の在り方と福祉の向上との関連について社会の変化や様々な意見をもとにして考えているかどうか評価します。</p> <p>【資料活用の技能・表現】 現代の経済に関する諸資料を様々なメディアを通して収集しているかどうか評価します。</p> <p>【知識・理解】 現代経済の特色をとらえる基本的な知識を身に付けているかどうか評価します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート及びレポート 授業の中で使用するプリント ノート 定期考査 小テスト
	11	イ 国民経済と国際経済	<p>○国際経済に関する基本的な仕組みについて学習します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 貿易の意義と国際収支の現状 為替相場の仕組み 国際協調の必要性や国際経済機関の役割 国際経済における日本の役割 	<p>【関心・意欲・態度】 国際経済に対して興味・関心をもっているか評価します。</p> <p>【思考・判断】 国際経済における日本の役割について社会の変化や自由貿易など様々な意見をもとづいて考えているかどうか評価します。</p> <p>【資料活用の技能・表現】 国際経済に関する諸資料を様々なメディアを通して収集しているかどうか評価します。</p> <p>【知識・理解】 国際経済の特色をとらえる基本的な知識を身に付けているかどうか評価します。</p>
12	(3) 現代社会の諸課題 ア 現代日本の政治や経済の諸課題	<p>◎現代における日本や国際社会の諸課題について、望ましい解決の在り方を考えます。</p> <p>○日本の政治や経済の諸課題について多様な角度から課題を設定し追究します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大きな政府と小さな政府 少子高齢社会と社会保障 住民生活と地方自治 情報化の進展と市民生活 労使関係と労働市場 産業構造の変化と中小企業 消費者問題と消費者保護 公害防止と環境保全 農業と食料問題 	<p>【関心・意欲・態度】 現代の日本の政治や経済の諸課題を意欲的に追究しているかどうか評価します。</p> <p>【思考・判断】 現代の日本の政治や経済の諸課題について多面的・多角的に考え、解決の在り方について調べ、考えているかどうか評価します。</p> <p>【資料活用の技能・表現】 学習に役立つ情報を自ら進んで選択して活用するとともに、追究し調べ考えた過程や結果を様々な方法でわかりやすく表現しているかどうか評価します。</p> <p>【知識・理解】 現代の日本の政治や経済の諸課題に関する基本的なしくみについて理解し、その知識を身に付けているかどうか評価します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート及びレポート 発表の内容や仕方
	1			
	2			
3	イ 国際社会の政治や経済の諸課題	<p>○国際社会の諸課題について多様な角度から課題を設定し追究します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球環境問題 核兵器と軍縮 国際経済格差の是正と国際協力 経済摩擦と外交 人種・民族問題 国際社会における日本の立場と役割 	<p>【関心・意欲・態度】 国際社会の諸課題を意欲的に追究しているかどうか評価します。</p> <p>【思考・判断】 国際社会の諸課題について多面的・多角的に考え、解決の在り方について調べ、考えているかどうか評価します。</p> <p>【資料活用の技能・表現】 学習に役立つ情報を自ら進んで選択して活用するとともに、追究し調べ考えた過程や結果を様々な方法でわかりやすく表現しているかどうか評価します。</p> <p>【知識・理解】 国際社会の政治や経済の諸課題に関する基本的なしくみについて理解し、その知識を身に付けているかどうか評価します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート及びレポート 発表の内容や仕方